

当社の概要（オーウェル株式会社とは）

企業理念「オーウェルの社会的使命は、最適整合の創造」を掲げ、
工業用塗料販売で国内トップクラスの塗料関連事業を主として、
センサーを中心とする電気・電子部品事業をグローバルに展開する生産財商社

商号	オーウェル株式会社 O-WELL CORPORATION
設立	1943年11月
拠点	●本店：大阪市西淀川区御幣島5-13-9 ●東京：東京都品川区北品川3-6-17
資本金	8億5,786万円
代表者	代表取締役社長 飛戸 克治
事業内容	●塗料関連事業 ●電気・電子部品事業
従業員数	●連結：600名 [127名] ●単体：389名 [89名] ※[]は平均臨時雇用人員で外数 (ともに2018年3月末現在)
売上高	●連結：637億円 ●単体：562億円 (ともに、2018年3月期)
関係会社	●連結子会社：16社 ●持分法適用関連会社：4社



企業理念

オーウエルの「社会的使命」は、
最適整合の創造

「企業目標」は、
意欲あふれる快心企業

その達成のための3つのポリシーは、

- 1. 顧客志向の実践**
- 2. 理と情との調和**
- 3. 社会との共感**

現在の中期経営計画における、ビジョンは、
意匠や機能で、人々の未来を豊かにする

当社のあゆみ

1943年11月	塗料統制株式会社の業務代行並びに各種塗料・工業薬品等の販売並びに塗装工事の請負業を目的とし、近江屋興業(株)設立
1967年 6月	大阪支店(現:本店)を大阪市西淀川区御幣島に新築移転
1970年10月	ITT社半導体部門日本代理店の東導(株)を買収して100%子会社化 ⇒ 商号をユニ電子(株)と改め、電気・電子部品事業を開始
1985年11月	技術センターを相模営業所[現:神奈川営業所]構内に開設 ⇒ 塗料と塗装設備・機器・装置等とのトータルプランニング研究を開始
1992年 4月	商号を近江屋興業(株)からオーウエル(株)に変更
1996年 7月	100%子会社オー・エー・シー(株)を設立 ⇒ 外装建材、建設機械、産業用ロボット等の塗装請負を開始
1998年 8月	エレクトロニクスプロジェクト(現:エレクトロニクス部)を設置 ⇒ 半導体ビジネスのマーケティングを開始
1999年 2月	100%子会社(株)オーウエルカラーセンターを設立 ⇒ 塗料調色・塗板見本作成塗料の調色請負・塗板見本の製作受託を開始
2008年 4月	中国に100%子会社奥唯(大連)貿易有限公司を設立 ⇒ 以降、韓国、インドネシア、ドイツ、中国(上海)、タイ、ベトナムに順次、現地法人を設立
2017年 9月	メキシコに100%子会社 O-WELL Mexico Coatings & Electronics S.A de C.V. を設立 ⇒ 塗料関連事業のマーケティングを開始

事業別売上構成比

電気・電子部品事業

産業用電気機械器具、
電気・電子部品の製造・
販売・輸出入、それらに
付帯する工事

139.4億円
21.9%

- ・ホールIC(磁気センサー)
- ・LED照明製品

その他

完成工事

- * 塗装ライン関連工事
- * 内外装リフォーム関連工事

塗装・計測機器

- * 塗装に関連する機器の販売

化成品・物資

- * 生産現場における様々な課題解決に 寄与する商品を提供
防音材 フィルム
接着剤 耐熱セラミック製品 ほか

塗料関連事業

498.0億円
78.1%

塗料、溶剤、塗装機械器具等
および化成品の販売・輸出入、
それらに付帯する塗装、塗装
請負、調色および工事

塗料・表面処理剤

【工業用塗料】

自動車用塗料に代表される、いわゆる生産ラインで連続的に量産される工業製品に使用される塗料であり、固有の条件に配慮して設計、開発した塗料



自動車用塗料



船舶用塗料

【汎用塗料】

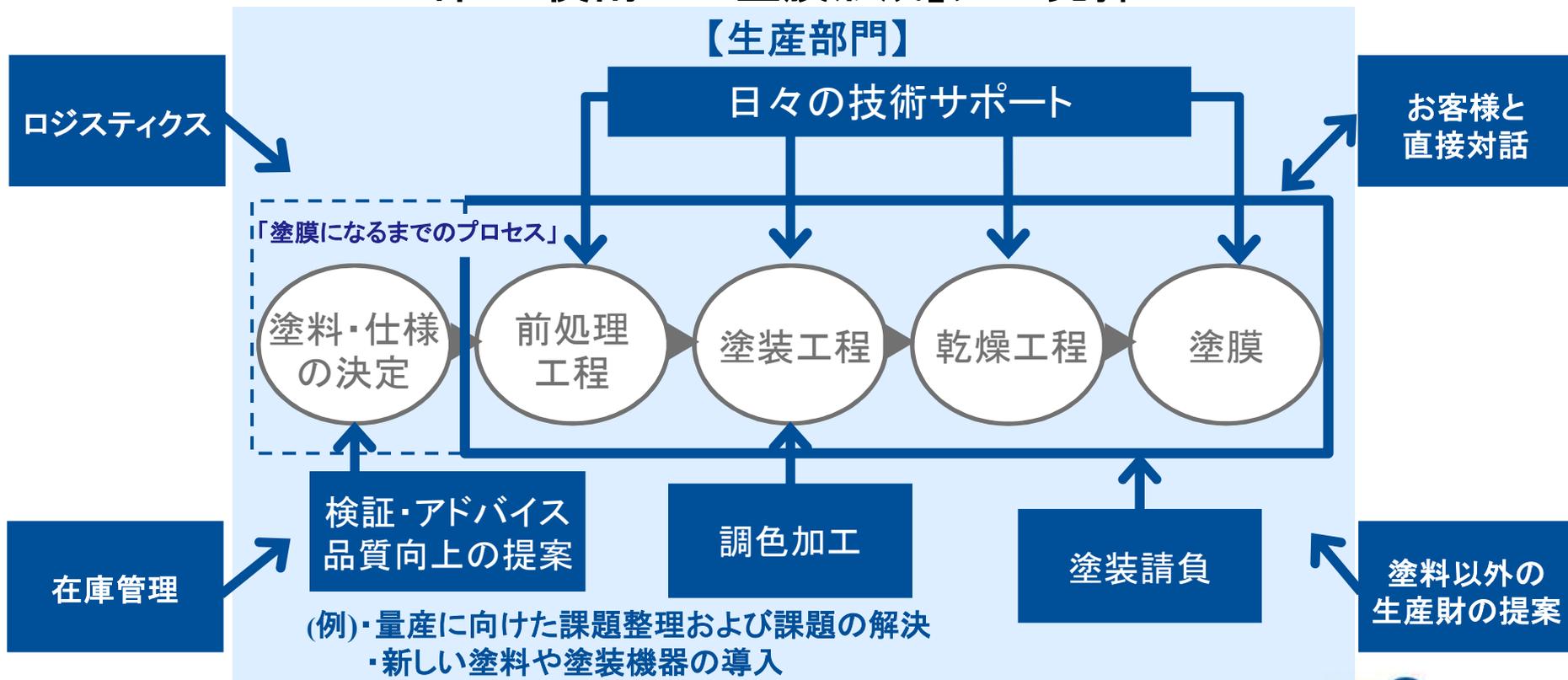
建築用塗料に代表される、幅広く使用されている塗料

連結売上高
637.5億円
2018年3月期

塗料商社の存在意義

塗料商社は、塗料メーカーとともに、あるいは塗料メーカーに代わり、お客様の生産現場において塗膜になるまでの各工程で日々発生する様々な課題の解決に寄与している

当社の役割 … 「塗膜形成」力の発揮



特長・強み

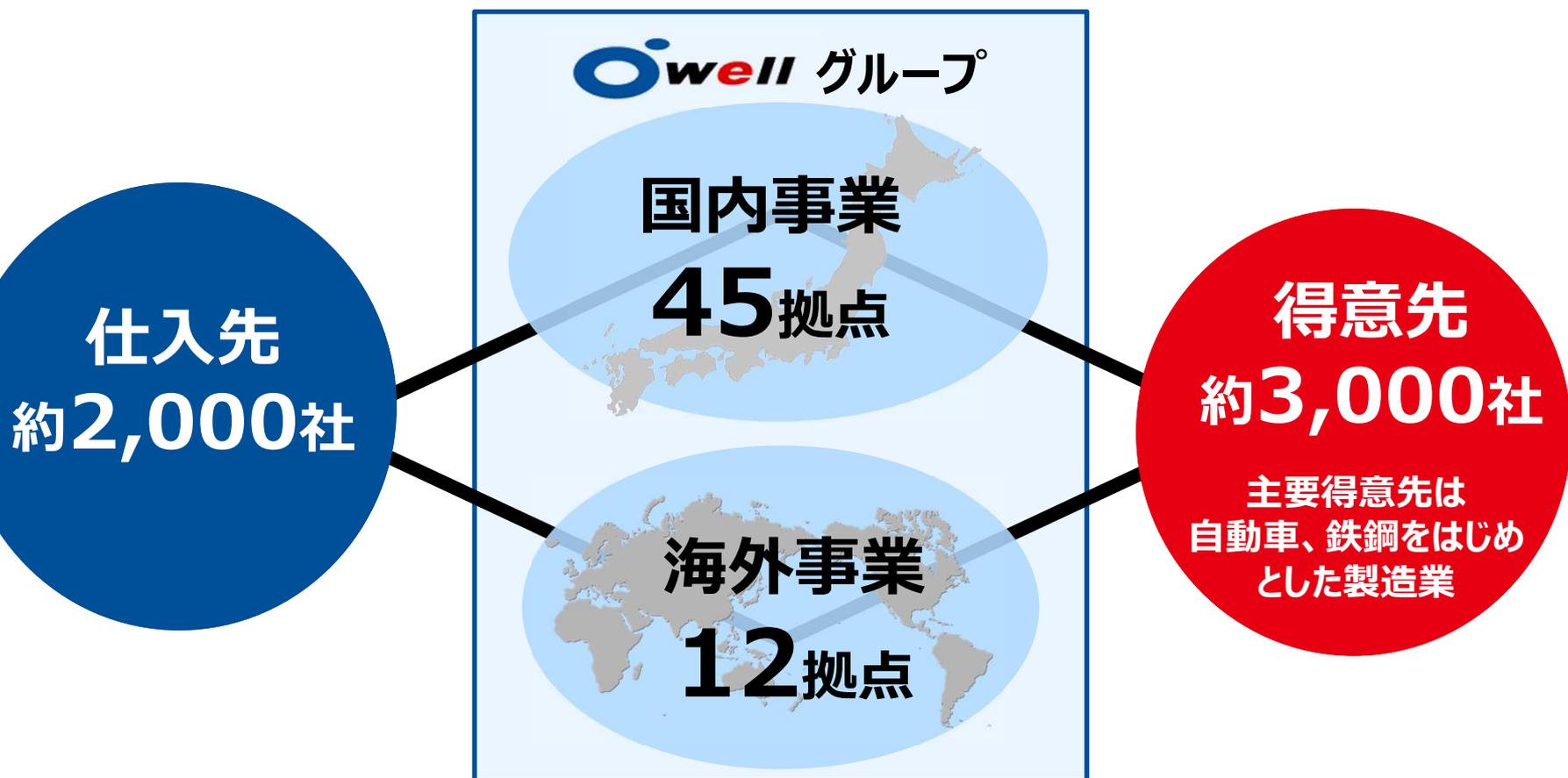
1) 安定した事業基盤

2) 長年培ってきた課題解決力

3) お客様に寄り添った営業体制

安定した事業基盤

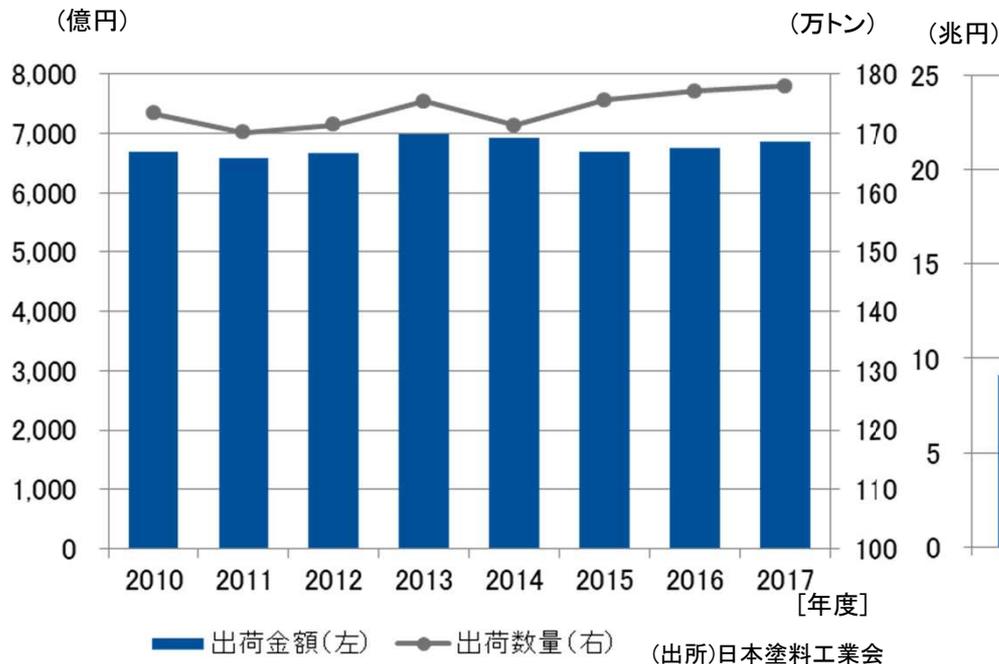
75年の歴史を重ねた信頼・信用に基づく多くの取引先



※ 営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む。

事業環境 ① 塗料関連事業

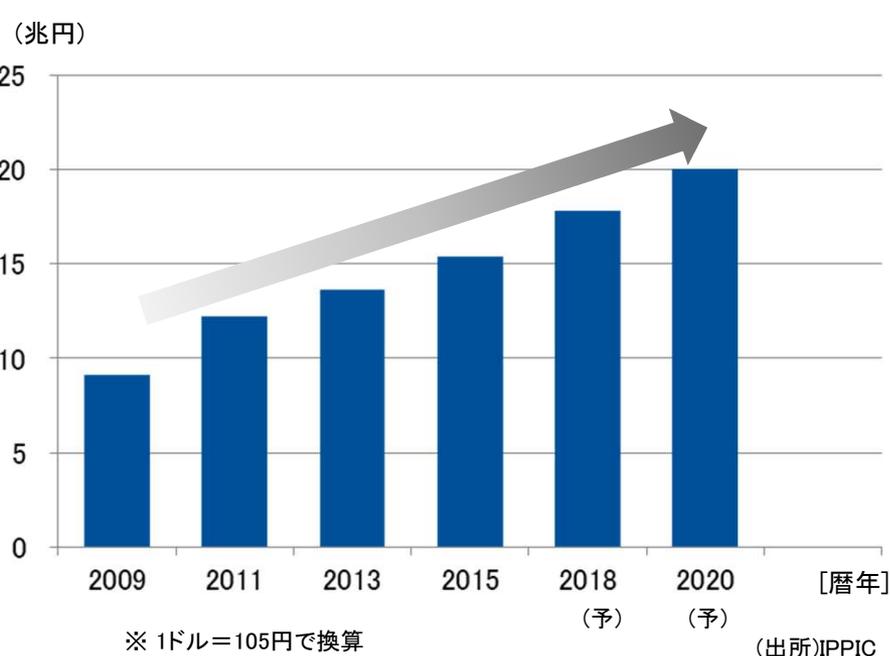
国内塗料市場の推移



● 国内市場は成熟・安定

- ・出荷数量のピークは1996年度の約230万トン
- ・現在は、170万トン超で推移

世界塗料需要の推移

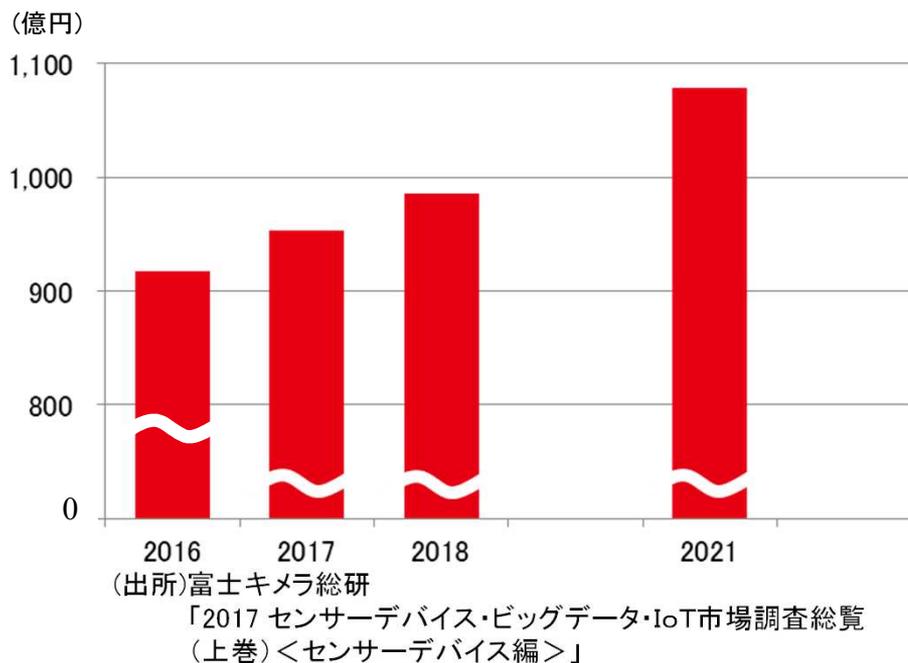


● 世界市場は成長期

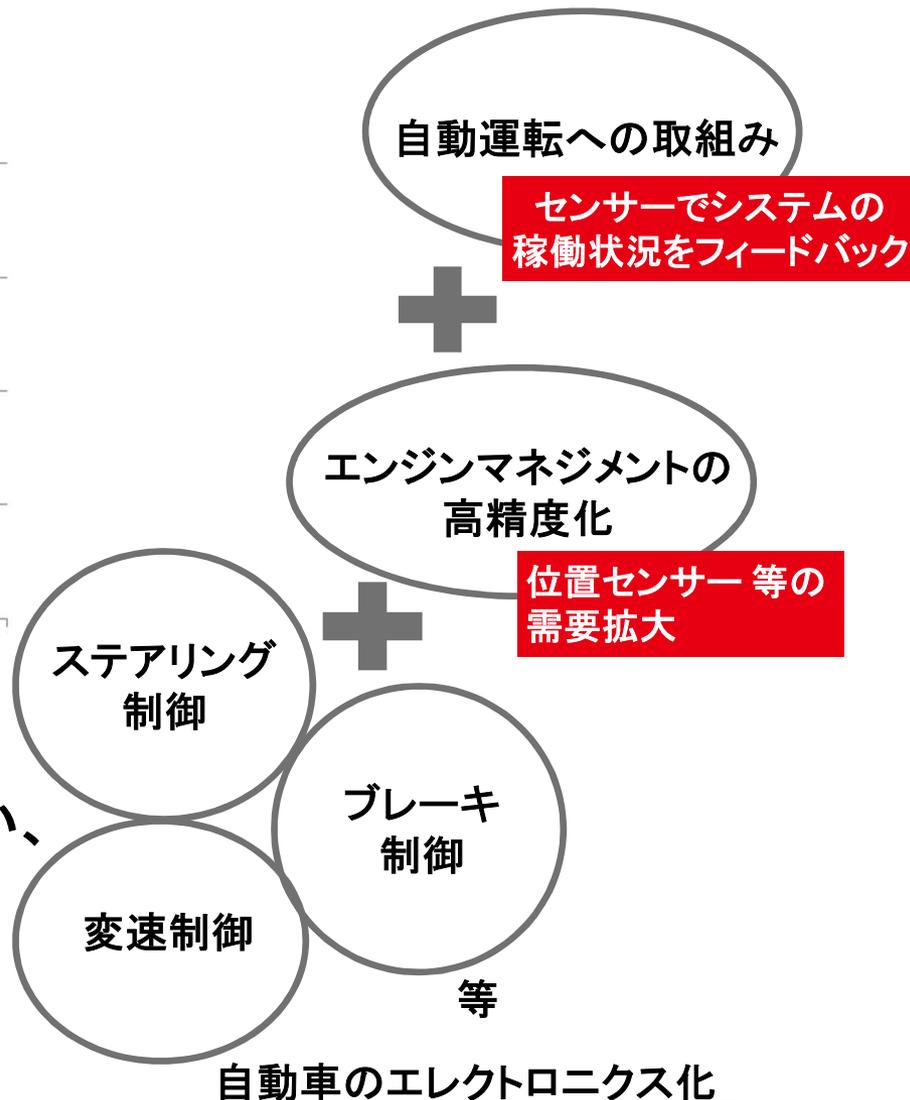
- ・一人当たりGDPと塗料需要は一定の相関
- ・さらに一人当たりGDP上昇に伴い、今後工業用途の拡大が予想される
- ・塗料市場の成長をアジアが牽引 (中国、インド、インドネシア、タイ、フィリピンなど)

事業環境 ②電気・電子部品事業

ホールIC 世界市場の推移



- 自動車のエレクトロニクス化進展に伴い、車載マーケットが拡大
- 日系企業の海外生産拡大により、グローバルなロジスティクス機能の提供ニーズが高まる



1) 塗膜形成に関する課題解決力の向上

塗装の高度化・省人化の実現、
グローバル化への対応

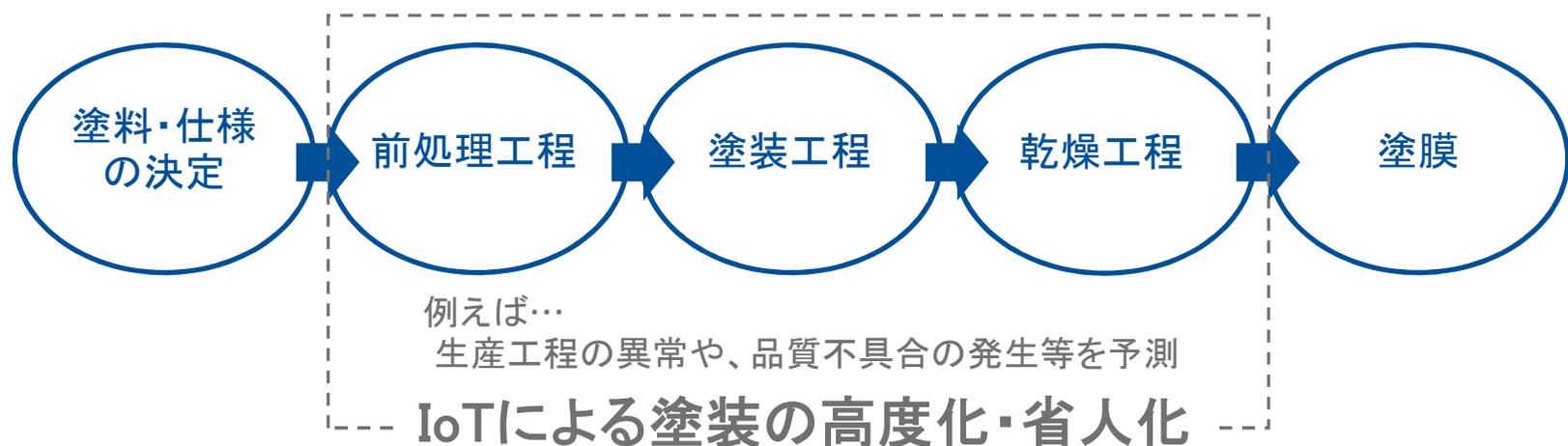
2) 市場の拡大を捉えたセンサー販売の拡大

車載向けのみならず、他用途の開発を強化

塗膜形成に関する課題解決力の向上

● 塗装関連事業と電気・電子部品事業の融合

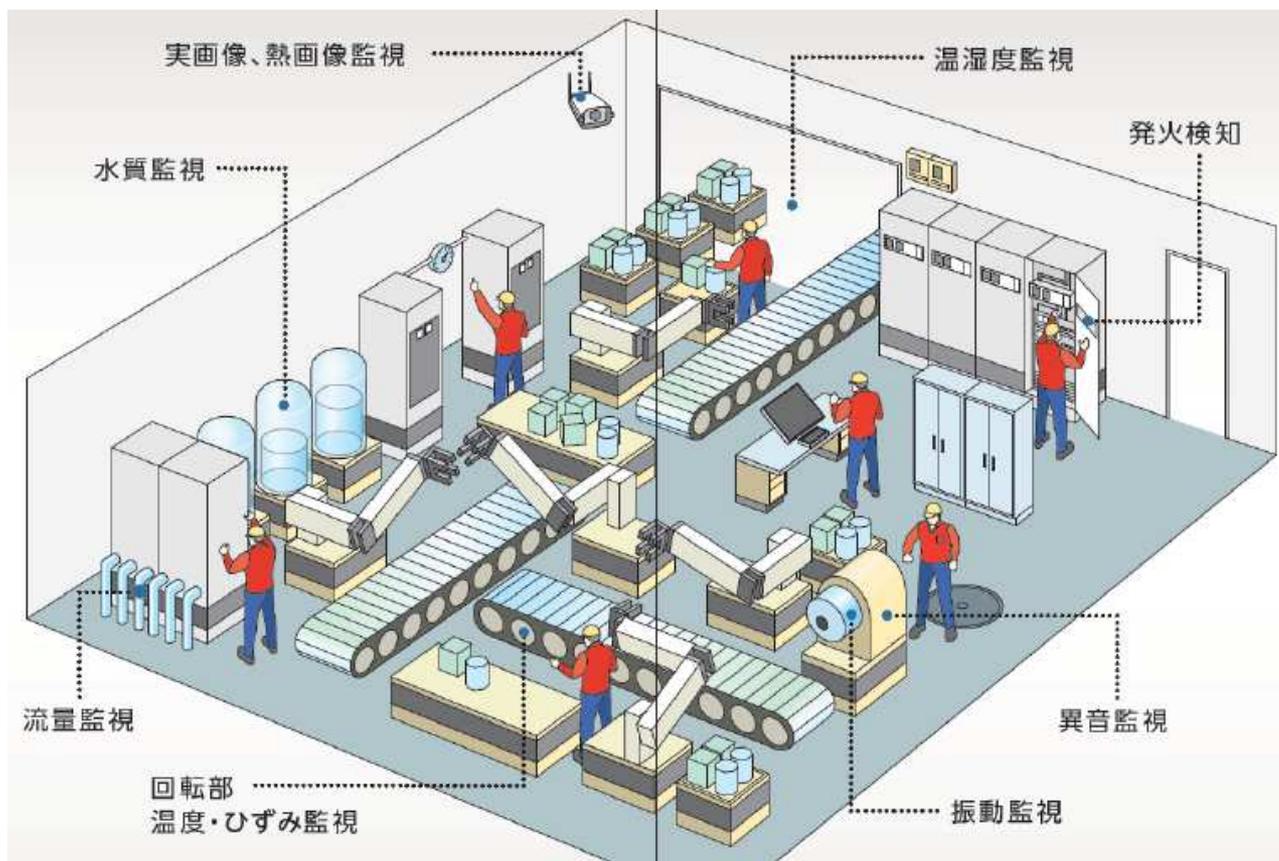
⇒新しいセンサーの用途開発、IoTによる塗装の高度化、
および検査工程も含む省人化の実現



塗装の効率化、環境問題への対応

市場の拡大を捉えたセンサー販売の拡大

● 塗装だけでなく、製造現場環境の見える化を実現



【センサーによる 無線監視の事例】

自社設計によるセンサー
プラットフォームを開発

従来、センサーを設置でき
なかった過酷な現場にも
設置

温度・湿度だけでなく、振
動、映像、流量などの
様々な情報をリアルタイム
に収集

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、オーウェル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2018年11月8日現在において一般的に認識されている経済、社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず当社が作成する自己株式処分並びに株式売出届出目論見書(および訂正事項分)をご覧ください。いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 目論見書のご請求・お問い合わせは、下記の取扱金融商品取引業者までお願いいたします。

大和証券株式会社、野村證券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、株式会社SBI証券

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

Ö*well*